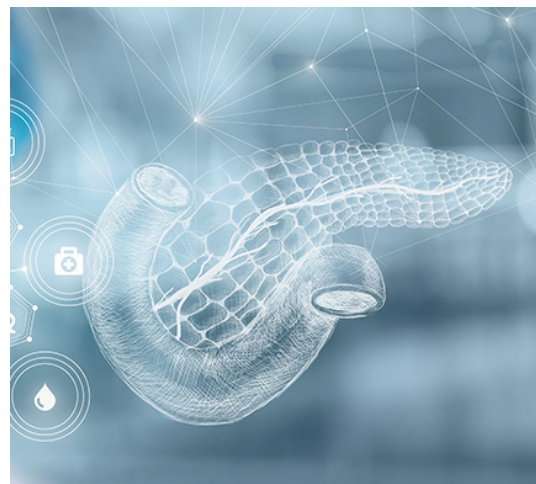




すい臓がん

すい臓がんは医療が進歩した今でも早期発見や根治が難しいがんです。JR札幌病院では最新機器を駆使した迅速な検査と、患者さんのQOL(生活の質)を重視した、多職種によるチーム医療を提供しています。



監修 JR札幌病院 消化器内科 科長

したに まさひろ 志谷 真啓 先生

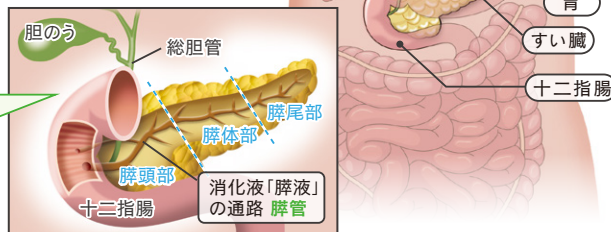
JR札幌病院が取り組む「すい臓がん」診療

1. すい臓の働きとは

すい臓は、胃の裏側にある、長さ約15~20cmの細長い臓器です。右側の太い部分から「膵頭部」「膵体部」「膵尾部」といいます。

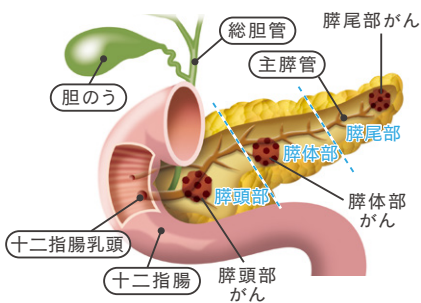
すい臓の役割は主に2つあります。

- ①糖質や脂肪を分解する消化液「膵液」を分泌する。
- ②糖の代謝に必要な「インスリン等」のホルモンを分泌し血糖値をコントロールする。



2. すい臓がんとは

○すい臓がんの多くは、膵管の細胞ががん化することで発生します。



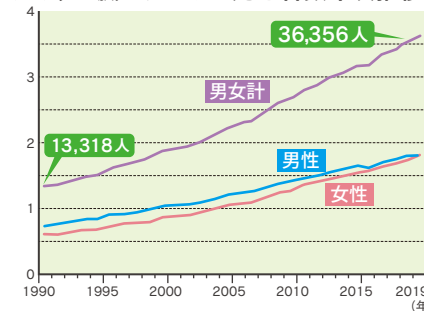
○すい臓がんは部位別死亡数(男女計)では、2019年に肝臓がんを抜いて第4位になりました。この30年で約2.7倍に増加しています。

2019年 部位別死亡数

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	すい臓	肝臓
女性	大腸	肺	すい臓	胃	乳房
男女計	肺	大腸	胃	すい臓	肝臓

出典: 国立がん研究センター がん対策情報センター

すい臓がんによる死亡者数年次推移



出典: 国立がん研究センター がん対策情報センター

3. すい臓がんの危険因子

すい臓がんの発症は、まだわかっていない事も多いですが、若年時からの肥満、喫煙、糖尿病などがリスク因子として報告されています。すい臓がん発症と強い関連が認められるものとして、膵のう胞や慢性膵炎があります。

危険因子	発症リスク
喫煙	1.68倍
2型糖尿病	1.94倍
近親者(親・姉弟・子)に1名すい臓がん罹患者がいる	4.5倍
慢性膵炎	13.3倍
膵のう胞	22.5倍

出典「膵癌診療ガイドライン2019年版」より引用

4. すい臓がんの症状

すい臓がんは初期には特徴的な自覚症状がないことから、早期発見が難しいがんといわれています。

●「膵癌診療ガイドライン2019年版」によれば

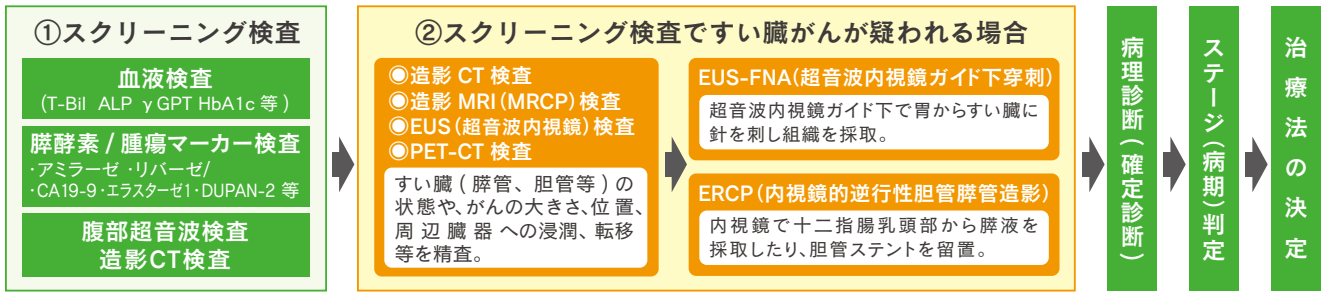
- ・すい臓がんと診断される半年前から25%の患者さんで腹部違和感がみられた。
- ・糖尿病はすい臓がんの60~81%に認められ、糖尿病診断後2年以内にすい臓がんと診断されることが多い。
- ・がんのできる部位としては、膵頭部が78%と最多。
- ・膵頭部がんは、黄疸の症状がみられることから、膵体尾部がんに比べて早期に発見される傾向。

すい臓がん患者における初発症状

症状	割合(%)
腹痛	78~82
早期膨満感	62
黄疸	56~80
体重減少	66~84
背部痛	48

Sharma C, et al. World J Gastroenterology. 2011;17:867-97.⁵⁰より引用変換

5. すい臓がんの検査・診断

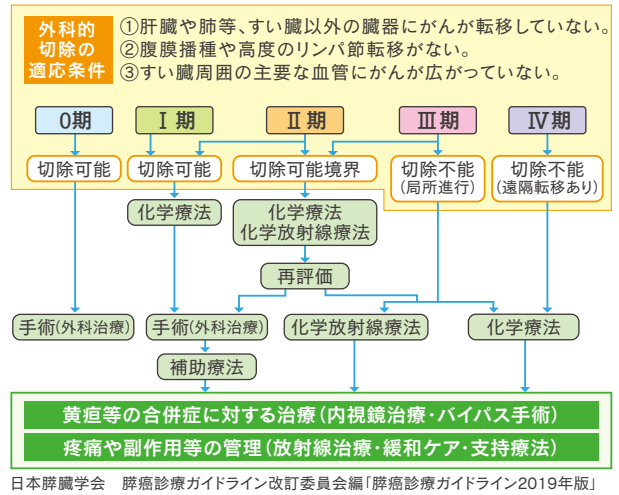


6. すい臓がんのステージ(病期)判定と治療の選択肢

難治がんの1つであるすい臓がんでは、早期がんであっても手術、薬物療法、支持療法、緩和ケア等を集学的に行うことが重要です。

へんの広がり(程度)	リンパ節への転移(N)	多臓器などへの転移がある(M)	
		なし	あり
大きさが2cm以下	I a	1~3個	4個以上
大きさが2cmを超えているが4cm以下	I b	II b	III
大きさが4cmを超えている	II a	IV	
がんが腹腔動脈もしくは上腸間膜動脈へ及び	III		

0期: がんが膵管の上皮内にとどまっている(非浸潤がん)
 UICC日本委員会 TNM委員会訳(TNM悪性腫瘍の分類 第8版 日本語版(2017年))



7. すい臓がんの治療

- がんに対する外科的治療(手術)、薬物療法、放射線治療を集学的に行います。
- 当院では早期から緩和ケアチームが関わるなど、多職種が連携して診療にあたります。

主な外科的治療(手術)

膵頭十二指腸切除術

がんが膵頭部にある場合

膵体尾部切除術

がんが膵体部や膵尾部にある場合

薬物療法

手術可能な場合

- 術前化学療法で腫瘍を小さくさせる
- 術後補助化学療法で再発を予防する

手術不能の場合

- 薬物治療と放射線治療を組みあわせて行う
- ※治療によりダウンステージした場合に手術適応になることがある

放射線治療

がんの縮小を目的に実施

疼痛等の緩和を目的に実施

合併症に対する内視鏡治療

黄疸への対応

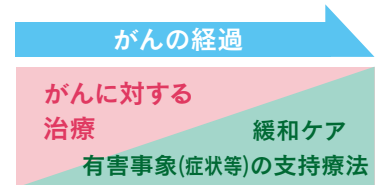
- ・内視鏡的胆道ドレナージ(ステント留置)
- ・経皮経肝的胆道ドレナージ

消化管閉塞への対応

- ・十二指腸ステント術
- ・バイパス手術

8. がん治療における「緩和ケアチーム」の参加

- すい臓がんだけでなく、全てのがん治療に言えることですが、病変に由来する症状のほかに、治療による合併症や副作用といった身体の苦痛、さらには精神的な苦痛が生じ、患者さんの生活や心に大きな影響を与えます。
- 緩和ケアは、がん治療における患者さんの身体の苦痛や、こころの不安を緩和するためのもので、当院のがん治療においては診断時から関わり、患者さんの生活の質(QOL)を高めることを目的としています。



監修医師プロフィール **志谷 真啓先生** Masahiro Shitani

消化器内科 ホームページ



医学博士

□ 専門領域

・肝・胆・膵疾患
(膵癌、胆管癌、胆のう癌、肝癌、膵のう胞)

□ 学会認定等(専門医、認定資格)

- ・日本内科学会総合内科専門医
- ・日本消化器病学会専門医・評議員
- ・日本消化器内視鏡学会専門医
- ・日本がん治療認定機構認定医
- ・臨床研修指導医
- ・日本膵臓学会指導医
- ・がん緩和ケア研修会修了
- ・がん患者リハビリテーション研修修了



Google Map



JR 札幌病院
JR北海道 札幌市中央区北3条東1丁目

TEL 011-208-7150